

(配布先)

施工担当部署長、建設所長
副部長、副所長
設備部長、安全長・安全主任
S・BLC関西社
関西支店取引業者災害防止協議会

関西支店 安全総括責任者
副支店長 近江 慎二



【紙回覧】 酸欠事故の再発防止のため緊急点検について(緊急指示)

昨日、関西支店の作業所で、ピット内作業中に酸欠の疑いのある死亡災害が発生しました。各作業所において酸欠事故の可能性のある場所の点検を緊急に行うよう指示します。

緊急指示の内容は、

- 1、酸欠災害のおそれのある場所について、緊急点検を実施すること。
- 2、酸欠リスクのある作業を日毎に定め、三現主義で確認させ、安全な設備と手順、ルール の順守を維持すること。

【安全衛生の手引き、12・酸欠空気等による危険防止】

具体的な指示内容

- ① 酸素欠乏危険場所(大気中の酸素濃度は21%未満)での作業は有資格者による作業の事。
- ② 事前にピット内の点検・確認を実施する事
 - ・酸素濃度の測定の実施
 - ・換気(給気及び排気)の実施
 - ・ピットへの入場時及び退場時の人員確認
- ③ 作業主任者の選任、その他

以上、酸欠災害絶無の為、当社従業員と取引業者が一体となって取り組むよう指示します。

以 上

災 害 速 報

部 門 関西支店

部 署 _____ 部 営業所

ピット内酸欠の疑いによる死亡災害



略
称

工事所在地 _____

工 期 2018/2 ~ 2020/3

工 事 長 _____

工事名称 _____

請負金 億 万円

工 事 長 _____

TEL: (_____) Fax: (_____)

| 発 生 日 時 | 災 害 ・ 事 故 発 生 状 況 | 経 験 年 数 |
|--|--|---|
| 2019年 9月 24日(火) <input type="checkbox"/> 午前 <input checked="" type="checkbox"/> 午後 2 時 0 分 頃 | 型枠解体工が駐車場棟地下ピット(PY1~PY2間)の型枠を9名で解体、搬出を行っていた。 13時50分頃 作業がまとまってきたので被災者が1F上がった。 その後順次ピット内から1Fへ上がっていった。 | 28 年 5 月 月 |
| 被災者氏名(ふりがな) (_____) . (48 才) | 14時00分頃 被災者がいないことに気付き、同僚8名で捜索した。 | 作 業 所 勤 務 日 数 400 日 |
| 所 属 及 び 職 種 | 14時10分頃 PY2~PY3間の地下ピットの中で倒れているのを発見。 解体工の作業主任者が救急車を要請 | 当 該 作 業 関 係 労 働 者 数 9 名 |
| 1次業者名 | 14時12分 解体工→清水建設に第一報 | (被災者所属グループの人数を記入) |
| 兼喜会 <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 災防協 <input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 互助会 <input checked="" type="checkbox"/> 加入 <input type="checkbox"/> 未加入 | 14時20分頃 救急車、消防隊、警察が到着→救助開始 14時30分頃 レスキュー隊がピットから引き上げ救急車で搬送 | 家 族 構 成 な ど (独身) 4兄弟 長男、被災者(次男) 長女、三男 |
| 雇用業者名 (3 次) | 16時00分頃 労働基準監督署到着 | |
| 職種(型枠解体工) | 17時10分頃 被災者死亡の報告 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">ピット内部で仰向けに倒れているのを発見</div> | |
| 受 傷 部 位 | 発注者 | JV状況 |
| 検 証 中 | | その他の記事 |
| 工 程 進 捗 状 況 | | TEL |
| 現在の主工事 駐車場棟躯体工事 全体工期進捗 — 71 % | 会 社 副 本 長 長 社 長 部 長 | 安全環境本部 (月 日) |
| | | 部署印座 |

